

		神戸	朝日	毎日	読売	日経
麻生内閣	支持	48.6%	48.0%	45.0%	49.5%	53.0%
	不支持	32.9%	36.0%	26.0%	33.4%	40.0%
自民党支持率	- 次期比例代表の投票先	37.0% - 34.9%	34.0% - 36.0%	28% - -	37.4% - 37.0%	41.0% - 36.0%
民主党支持率	- 次期比例代表の投票先	28.3% - 34.8%	23.0% - 32.0%	22% - -	22.8% - 30.0%	31.0% - 33.0%
公明党支持率	- 次期比例代表の投票先	4.7% - 5.7%	-	-	-	4% - 5%
共産党支持率	- 次期比例代表の投票先	2.4% - 2.7%	-	-	-	4% - 4%
社民党支持率	- 次期比例代表の投票先	1.2% - 1.2%	-	-	-	2% - 1%
国民新党支持率	- 次期比例代表の投票先	0.3% - 0.4%	-	-	-	1% - 1%
新党日本支持率	- 次期比例代表の投票先	0.2% - 0.2%	-	-	-	0% - 0%
支持政党なし	- 次期比例代表の投票先	23.1%	-	-	-	13.0%
望ましい政権の枠組み	自民党中心	38.1%	39.0%	-	-	19.0%
	民主党中心	43.8%	40.0%	-	-	19.0%
	自民・民主大連立	-	-	-	-	50.0%
どちらが首相にふさわしいか	麻生氏	53.9%	54.0%	42.0%	54.0%	35.0%
	小沢氏	29.4%	26.0%	19.0%	26.0%	22.0%

神戸 与党内では新政権の「御祝儀相場」が続いている間の実施を求める声強いが、政権維持を狙った露骨な選挙日程が国民の反発を招くのは確実だ。一方で、衆院選の時期を遅らせれば、景気の深刻化などで野党にさらなる攻撃材料を与える可能性が高い、麻生首相は勝算が見通せないまま衆院解散の時期を判断することになりそうだ。

朝日 「政権交代」を最大の争点に「自民党政権か、民主党政権か」という選択を迫る民主党の土俵に乗らず、「党首力対決」に持ち込む戦略を描いてきただけに、狙い通りと手ごたえを感じた様子だった。

民主党の反転攻勢の舞台は、08年度補正予算案を審議する予算委員会だ。「たっぷり追及材料がある。これから先、麻生政権の支持率はおちるばかりだ」と手ぐすねを引く。

予算委で得点を稼いだうえで、解散選挙へ、そんなシナリオを描く民主党は25日、「話し合い解散」を強くにおわせた。

一方、補正予算案質疑への「野党の非協力ぶり」を解散の大義名分としたい与党。補正予算案と関連法案の一体処理を求め、合意のハードルをあえて引き上げた。

読売 麻生首相は個人的人気では小沢代表より優位にあるものの現時点ではそのことが有権者の投票選択にそのまま結び付いているわけではないようだ。

前回の参院選の結果で、自民党の歴史的惨敗、民主党の大勝が起こったように、党首の個人的人気、選挙の結果にそのまま反映するわけではないということは実証済みだ。

ただ、参院選では政権交代が現実にかかる可能性はなく、「お灸意識」で多くの票が民主党に流れた面もあるとみられている。

望ましい政権の枠組みの結果をみると、自民党中心の政権を望む有権者は47%で、こうした意識を背景に、「衆院選は政権選択選挙だ」との実感が有権者の間に強まれば、「党首の人気」と「投票政党」とのずれが縮まる可能性もありそうだ。

毎日 「選挙の顔」を期待され、総裁選を圧勝した麻生太郎首相に対する失望も広がったが、次期衆院選に関する質問の回答はいずれも自民党が民主党を凌駕した。衆院解散の時期などに大きな影響をあたえる調査結果。与党は「世論のねじれ」に戸惑うと同時に、「補正予算優先を」という声を重く受け止